

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	12-104	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)		
<p>Association between alcohol consumption in healthy midlife and telomere length in older men. The Helsinki Businessmen Study.</p> <p>健康な中年のアルコール消費量と高齢に達した男性のテロメアの長さとの関係 : The Helsinki Businessmen Study</p>		
執筆者		
Strandberg TE, Strandberg AY, Saijonmaa O, Tilvis RS, Pitkälä KH, Fyhrquist F.		
掲載誌		
Eur J Epidemiol. 2012 Oct;27(10):815-22.		
キーワード		
アルコール消費量、テロメア、Helsinki Businessmen Study		
要 旨		
<p>目的：</p> <p>アルコール消費量と生物学的な年齢の指標であるテロメアの長さについての関連を明らかにすることを目的とした。</p> <p>方法：</p> <p>1974年に詳細なアルコール消費量の調査が行われた Helsinki Businessmen Study (社会経済学的に同一な中年男性を対象としたコホート研究) を用いて、1週間のアルコール消費量を5つのグループ(なし、1~98、99~196、197~490、490以上g/週)に分け、高齢になるまで繰り返しの調査を実施した。2002・2003年に、白血球のテロメアの長さ(LTL)と5キロベースよりも短いテロメアの割合について、ランダムに抽出された499人の男性(平均年齢76歳)のサブコホート集団でのサザンブロット法によって測定した。</p> <p>結果：</p> <p>アルコール消費量を5つのグループに分け年齢調整をした結果、テロメアの長さは、8.33、8.24、8.12、8.13と7.87キロベースでそれぞれ有意な差を認めた($p < 0.001$)。短いテロメアのそれぞれの比率は、11.24、11.52、11.89、12.08と13.47と有意な差を認めた($p = 0.004$)。さらに喫煙、BMI、コレステロール、運動を調整した後も、テロメアの長さは有意な関連を認め($p = 0.03$)、短いテロメアの割合は差がある傾向を認めた($p = 0.07$)。白血球のテロメアの長さも短いテロメアの割合も老年期のアルコール消費量と関係を認めなかった。中年における僅かなアルコール消費でさえ、老年におけるテロメアの長さが短くなる事と有意に関連していた。</p> <p>結論：</p> <p>飲酒量0のグループと最も多く消費するグループの生物学的年齢においては、10歳以上もの差が認められた。</p>		